

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市総合計画審議会(第2回)		
事務局(担当課)	総合政策部政策推進室政策課		
開催日時	平成24年7月3日(火) 午後6時30分から午後9時30分		
開催場所	川西市役所4階 庁議室		
出席者	委員	(別紙委員名簿のとおり) 中井委員 欠席	
	その他		
	事務局	本荘総合政策部長、石田政策推進室長、飯田政策課長 片岸政策課課長補佐、原政策課主任、稲治政策課主任 笠島政策課課員	
傍聴の可否	可	傍聴者数	5人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	(別紙会議次第のとおり)		
会議結果	(別紙審議経過のとおり)		

川西市総合計画審議会委員名簿

平成 24 年 7 月 3 日現在

(敬称略、50 音順)

	委員氏名	役職等	選出基準	備考
1	上田 邦彦	川西市医師会副会長	市民団体等	
2	岡 英樹	市民	公募	
3	荻田 雅仁	川西市商工会理事	市民団体等	
4	小澤 良明	流域ネット猪名川幹事	市民団体等	
5	加藤 晃規	関西学院大学総合政策学部教授	学識経験者	副会長
6	神田 栄治	兵庫県立大学客員教授	学識経験者	
7	金南 咲季	市民	公募	
8	斯波 康晴	市民	公募	
9	直田 春夫	NPO法人NPO政策研究所理事長	学識経験者	
10	田中 淑子	国際ソロプチミスト川西理事	市民団体等	
11	土山 希美枝	龍谷大学政策学部政策学科准教授	学識経験者	
12	中井 成郷	川西市PTA連合会長	市民団体等	欠席
13	中上 直人	川西市社会福祉協議会地域福祉チーム	市民団体等	
14	中村 信行	川西市防犯協会会長	市民団体等	
15	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授	学識経験者	会長
16	福田 義久	川西市農業振興研究会長	市民団体等	
17	藤村 聡	阪急バス株式会社自動車事業部業務課	市民団体等	
18	堀田 啓子	川西市文化協会川西合唱連盟	市民団体等	
19	水口 充啓	川西市消防団長	市民団体等	
20	三井 ハルコ	NPO法人市民事務局かわにし副理事長	市民団体等	
21	横田 茂	能勢電鉄株式会社総務部長	市民団体等	
22	吉永 京子	川西市コミュニティ協議会連合会長	市民団体等	

川西市総合計画審議会（第2回）会議次第

日時：平成24年7月3日（火）

午後6時30分～

場所：川西市役所4階 庁議室

1 開会

2 議事

(1) 前回の振り返りについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料なし】

(2) 基本構想原案（第1部）の説明について・・・・・・・・・・・・ 【前回配布】

(3) 本日の進め方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料1】

(4) 班別討議

(5) 全体討議

3 その他

4 閉会

審 議 経 過

会 長	<p>1. 開会</p> <p>こんばんは。蒸し暑いところ、また、お足元の悪いところをお集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>定刻を少し過ぎてしまいましたが、「第2回川西市総合計画審議会」を開会いたします。</p> <p>最初に、事務局より本日の委員の皆様方の出席状況について説明をお願いします。</p>
事務局	<p><出席状況></p> <p>本日は、足元の悪い中、ご参集を賜りまして、ありがとうございます。</p> <p>本日の出席状況は、委員22名中、中井委員からご欠席の連絡をいただいておりますので、出席者は21名です。つきましては、会議開催要件である過半数の出席をいただいておりますので、本日の審議会は成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、この度、総合計画策定支援として業務委託をしておりますコンサルタントをご紹介します。(株)地域計画建築研究所の田口と小阪です。議事録の作成支援等のため、今後、審議会に出席の予定ですので、よろしく願いいたします。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。ただ今、当審議会は成立していることをご報告いただきました。</p> <p>本日も午後6時半から2時間程度を目途に会議を進めたいと思いますが、前回の例もございまして、多少オーバーすることもあるかもしれません。その点は皆様の熱心なご討議の結果としてお許しをいただかなければならないケースも出てこようかと思っておりますので、予め申し上げておきたいと思っております。</p> <p>◆ 審議会の議論について</p> <p>それでは、議事に入りたいと思いますが、その前に、前回、第1回審議会ということで、市から諮問をいただきました際、この審議会の役割について、委員の皆様から「どこまで議論するのか」というご質問をいただきましたので、改めて確認させていただきます。</p> <p>この審議会は「川西市総合計画の策定等に関する条例」第4条に基づいて審議をしていただくものですが、諮問に対して答申しますのは基本構想の部分で、基本的な考え方、将来の目標等を議論していただきます。これが当審議会の答申の役割です。</p> <p>ただし、総合計画は基本構想・基本計画が中心になりますので、この審議会の議論の中でも基本構想だけではなく、基本計画部分についてもご議論をいただきながら、基本構想についての諮問を受けた部分について答申をまとめていくという作業になるかと思っております。したがって、ご議論の中では</p>

	<p>基本計画についても議論をしていただきますが、我々が任務として答申をしなければならぬのは基本構想部分であることを改めて確認させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 前回の振り返り</p> <p>それでは、議事に入りたいと思ひます。</p> <p>まず、「前回の振り返り」について、すでに、事務局から資料等をいただいておりますが、簡単に説明をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
会 長	<p>(前回の振り返りについて説明 …資料なし)</p>
	<p>ただ今の、前回の宿題部分につきまして、予め資料等を送付していただきたいと思ひます。また、議事録については、このような形で今後も記録し、委員の皆様を確認していただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、前回資料は今後の審議で活用していただきたいと思ひます。また、議事録については、このような形で今後も記録し、委員の皆様を確認していただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
会 長	<p>(2) 基本構想原案(第1部)の説明について</p> <p>それでは、議事(2)の「基本構想原案」について、いよいよ本格的にご議論いただきたいと思ひます。本日は基本構想の前半部分の第1部について議論していただきます。まずは、事務局より説明をお願ひいたします。</p>
事務局	<p>(資料(前回配布)の説明)</p>
会 長	<p>ありがとうございました。この後、具体的な方法については事務局から説明があると思ひますが、委員の皆様方にご審議いただきたい基本構想案の前半部分について説明していただきました。</p> <p>前半部分は基本構想の枠組みや考え方、前提になる現状の分析等が中心であり、基本構想の実際の将来目標部分、まちづくりの具体的な方向付けの部分は次回以降にご議論をいただくことになろうかと思ひます。本日は、その前提になる部分ではありますが、重要な人口推計の問題や川西市が持っている様々な強み、あるいは弱みについて書き込まれておりますので、これについてご議論をいただきたいと思ひます。</p> <p>ただし、これだけの人数では議論し難いところもありますので、この後、班ごとに分かれてご議論いただきたいと思ひます。現時点でご質問等がござ</p>

	<p>いましたらご発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>◆ 川西市の名称について 川西市は明治 22 年に川西村として誕生したということですが、川西という名称の由来は、猪名川の西に位置しているからでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市史の中ではそのように分析されていたと思います。記憶が曖昧ですが、そのような記述があったように思いますので、また確認いたします。</p>
<p>委 員</p>	<p>このような質問をしたのは、川西市にとって猪名川が大事な位置づけになるという意味からです。</p>
<p>委 員</p>	<p>◆ アンケート回答者の偏差について P13～14 のデータについて、この項は、アンケート調査の結果として、市民から見た時の満足度や重要度があることを前提に書かれていると思いますが、アンケート自体が一定の偏差があると思います。例えば、P14 の「施設の満足度と重要度の関係」で「6.低所得者福祉」の重要度が低くなっていますが、これはたまたまアンケートの回答者の中にそういうことを課題としている人が少なかったために、全体の中での重要度が下がった可能性もあると思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>もう一つ、P21～22 の「60 代以上と全体の比較」のグラフは 60 代以上と全体の値がほぼ重なっており、アンケート回答者に 60 代の方が多かったのではないかと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>これは 1,000 名（市民実感調査の対象者数）からアンケートをとった結果として、一つの参考と見てよいのでしょうか。男女差や年齢差など偏差が回答者の中にあっただろうか、補足していただければと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>すでにアンケートの回答属性については各委員にお送りしておりますので、必ずしも市の人口構成を正確に反映しているわけではないということをご理解いただけたと思います。しかし、3,000 人（市民意識調査の対象者数）という大きな数字の統計ですので、市民の凡その意向は掴んでいると考えざるを得ないと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>事務局から、今のご質問に対するお考えがありましたら、お願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、会長が話されたような考えです。まず、P14 の表の見方ですが、マトリックスが右側に向かって満足度、縦軸が重要度を表しており、ご指摘の「6.低所得者福祉」の課題が低くなっているということではなく、満足度としては市平均より低いという意味です。そういう意味では、ピークのラインに至っておらず、全体的な捉え方として重要度が高いという意識を持たれていないという形ですので、必ずしも課題として捉えていないということではないと理解して</p>
<p>事務局</p>	<p>いただきたいと思います。</p>

会 長	<p>それから、調査対象については無作為で行っており、必ずしも人口の配分と合致するものではないかもしれませんが、概ね高齢化が進んでいますので、人口比率的なものとは類似した形になっているのではないかと考えています。</p> <p>これも今後の基本構想を考えていく上での重要な手掛かりと考えていただければよいのではないかと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>◆ 班別討議について</p> <p>総合計画の役割や文面、項目や新たな見方等についての発言は、班別討議の後でしょうか。</p>
会 長	<p>この後の班別討議で、それについて積極的にご発言いただければと思います。</p>
委 員	<p>そうすると、P21～22 はまとめの部分だと思いますが、「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つがどのような括りになっているかということが書かれています。この括りはもう変更しないことになっているのでしょうか、それとも、分類の仕方や新たな項目の可能性等も班別討議の中で提案するのでしょうか。</p>
会 長	<p>当然、いろいろなご意見が出てくると思いますので、それも含めて意見を出していただければと思います。是非、各班で積極的に議論していただきたいと思います。</p>
委 員	<p>◆ アンケート結果の扱いについて</p> <p>確認ですが、P14 のマトリクスについて、重要度、満足度については、これはあくまで参考材料として考え、実際にはここにそれぞれの地域や専門分野の方がおられるので、具体的な現場の意見によっては、別の解釈をしてもよいのでしょうか。</p>
会 長	<p>あくまでも議論の材料と考えていただければよいかと思います。</p>
委 員	<p>◆ 議事録作成のための発言者名明示について</p> <p>進め方で気づいたのですが、会議録のために、発言する時に名前を述べてから発言する等、そのような配慮はした方がよろしいでしょうか。</p>
会 長	<p>議事録作成の技術的な問題ですが、それについて事務局はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>(名前を述べていただけると)助かります。</p>
会 長	

	<p>それでは、できるだけ最初にお名前を述べられてから発言をお願いいたします。討議に夢中になって名乗るのを忘れる場合もあるかもしれませんが、それは仕方がないと思います。</p> <p>他にはよろしいでしょうか。(質問、意見なし)</p>
会 長	<p>(3) 本日の進め方について</p> <p>それでは、できるだけ皆で議論する時間も取りたいと思いますので、続いて、「本日の進め方」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料説明 …資料 1)</p>
委 員	<p>◆ 書記と録音、審議未了の扱いについて</p> <p>書記の人は大変だと思います。皆さんは意見を述べたいと思って参加されていると思いますが、書記の人は意見を述べる時間がないので、書記は事務局にさせていただいてはどうでしょうか。</p>
会 長	<p>ご提案をいただきましたが、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>私もそれを感じました。また、大変大事な提案がある場だと思いますが、45分間しかないので、書記が書き漏らしたり、十分に解釈できなかつたりすることもあるかもしれません。したがって、議事録なしにして、録音をしていた方が、後からいろいろな審議の資料もできるのではないかと思います。</p> <p>また、仮にいろいろな意見が出た場合、プロの司会者ではないので、時間配分が難しいと思います。審議未了になった部分についてはどのような扱いをしたらよいのでしょうか。</p>
会 長	<p>それでは、事務局からお考えがありましたらお願いいたします。</p>
事務局	<p>1 点目の書記については、ご指摘のとおり、大変ご苦勞な面もあろうかと思えます。よろしければ、今回はコンサルタントが入っておりますので、そちらの方で応援させていただくという考え方もあろうかと思えます。これは一つの意見として出ましたので、班に分かれた後、中で議論していただき、もし担い手がおられないようでしたら、そのような対応で実施したいと考えています。</p> <p>2 点目の録音については、もともと自由な意見交換をしていただくために議事録を起ささないということで録音しないことにしました。したがって、限られた時間の中で書き残しますので、審議内容を簡単に振り返り、確認させていただいたら、細かい発言の漏れ等のために録音を聴き直すようなことはしなくてもよいかとも思いますが、録音しておくことについてはやぶさかではありません。ただ、繰り返しますが、議事録を起さすわけではありませんので、そのようにご理解いただきたいと思います。</p>

	<p>3点目の議論の持ち越しについては、原則として、本日は第1部を審議していただく場としたいと思いますので、まず、第1部の審議を時間内に進めるとい前提で進めていただきたいと思います。そのために検討シートを配布し、議論のポイントを提示させていただきましたので、そのような考え方で進めていただきたいと思います。</p> <p>ただし、それでも議論が進まないという状況もあるかもしれません。そのため、会長及び事務局が各班に分かれて進捗状況を拝見し、そういう中で時間配分を考えながら円滑に進めていきたいと思っていますので、万が一進まない場合は、その時点で考えさせていただきたいと思いますが、まずは第1部を討議し終えるという前提でご議論をお願いしたいと思っています。</p> <p>◆ 審議の仕方(拡散・集約)について</p> <p>今回の議論の場はワークショップ的なものとは違うのでしょうか。ワークショップは拡散させますが、今回はある程度集約を考えているようです。拡散がメインか、集約がメインかで少し戸惑いがあります。どちらを重点にすればいいでしょうか。</p>
委員	<p>基本的には、基本構想をまとめていただくことが目的ですので、当然、いろいろなご意見をお持ちだと思いますが、それを集約していただくのが皆様の使命と心得ていただければと思います。これはそのような性質の審議会ですので、仕方がありません。いろいろなところに向きたい気持ちはわかりますが、ここはまとめていただくように考えていただきたいと思います。</p> <p>ただし、そのプロセスでは自由なご意見を制約するという意図は全くありませんので、自由に意見を出していただきたいと思います。それで、どうしても集約し切れないものは「まとまらなかった」としてご報告いただければ、また改めて事務局か私のところでもう一度検討させていただいて、何某か解決の手段を考えたいと思っています。</p> <p>しかし、委員の皆様ご自身の手でまとめていただきたいと思いますというのが、この会議の趣旨とお考えいただければと思います。ですから、これから班に分かれていただきますが、そこでの運営も委員の皆様ご自身の手で運営し、そこで集約をしていただきたいと思いますというのが事務局の気持ちだと思いますし、私もそれが一番よいのではないかと考えています。ただし、技術的にはやはり難しいところもありますので、そこはそれぞれご相談をいただければと思っています。</p>
会長	<p>委員</p> <p>それであれば、効率的な運営が必要だと思いますので、1章の項目ごとに事務的に誰かに進めていただいて、委員全員が発言できる機会を持った方がよいと思います。したがって、書記は専門的に書くことに徹していただいた方が効率的ではないでしょうか。</p> <p>会長</p> <p>ありがとうございます。そこは各班で司会役や書記、最後の発表者をそれぞれ</p>

	<p>れ選んでいただきますので、その中で議論していただければと思います。ただ、基本は、司会役は委員の中から自主的にリーダーを選んでいただければと思っていますし、全体会での発表も各班の委員からお願いしたいと思っています。ただ、皆様方からもご意見がありましたように、書記は大変ですので、それについては事務局あるいはコンサルタントの方に手伝っていただくことも、それぞれの班でご検討いただければと思っています。よろしいでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>時間が限られた中で効率的に進めなければならないのはよくわかりますし、事務局の仕事のストレスもよくわかりますが、本当に 22 ページ分を 45 分間で議論するとすれば、1 ページ当たり 2 分間程度のペースで進めなければなりません。委員が 11 人ですのでトータルで 1 人 4 分間程度となりますので、改めて実感することとして、検討シートをしっかりと作って来て、その上で参加して、言い漏れた分は検討シートを提出してまとめるという形でフォローしないと、45 分間では言い切れないストレスを感じる会議になると思います。一応やってみて、意見のある時は改善を考えていただきたいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>本日が初めての試みですので、どこまで上手くいくのか、様子を見ながら実際の進め方は工夫のできるところは工夫をしていければと思っています。そういうことでよろしいでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>それには従いますが、枠の中で話せと言われるのは窮屈です。皆さんは、恐らく相対的に話をしたいと思います。「このページのこれに関して、自分の考えは該当するのか」等、遠慮をせずに、1 章の部分において相対的な話をしたいと思うので、それを事務局が「この人はこの部分のことを話している」と判断して拾っていただく方法が正しいのではないかと思います。決められたように進めますが、本来は決められたページについて話をするのは窮屈だと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>その点は、司会進行役の方に工夫していただいて、話が少々飛んでも、それはそれで受け止めていただいて、第 1 部について詰めていただけるようお願いしたいと思います。ご指摘がありましたように、窮屈なところもあるかと思います。まずはトライしていただいて、本当に話し難ければ改めてやり方を考え直すという、そういう機会も全体討議の中では作りたくと思います。</p> <p>それでは、よろしいでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>班別で議論する際、質問はどう扱われるのかが気になります。今の提示では、意見を書くようになっていますが、意見を言う前に質問したいことがたくさんあります。私も文章に関して質問がありますが、班別会議では聞きたいことはどのように扱われるのでしょうか。</p>
<p>会 長</p>	<p>必ず事務局が各班に付きますので、内容についてのご質問は、事務局にその</p>

	<p>場で答えられるものは答えていただきます。質問がそのままご意見につながるケースの方が多いと思いますので、それはきちんと記録していただければと思います。そのような扱いで、本日はまず進めていただければと思います。45分間の限られた時間ですので、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ここから先は事務局の方にお任せして、班別討議に移りたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>(4) 班別討議 (班分け等の指示) (各班に分かれて討議)</p>
会長	<p>(5) 全体討議 皆様お揃いになられたようですので、再開させていただきます。 ただ今、1班、2班それぞれの議事内容のペーパーを配布していますので、参考にご覧いただきたいと思います。書いたものをそのままコピーしていますので読みにくいところもあると思いますが、ご容赦いただければと思います。 それでは、各班の議論の様子について簡単に紹介させていただきます。第1班からお願いします。</p>
委員	<p><1 班発表> 聞き漏らしている部分もあるかと思しますので、後程、修正や補足をしていただければと思います。</p> <p>◆ 第1章 第1章「1 総合計画策定の趣旨とこれまでの経緯」については、第4次、第5次までの総括を明記すべきという意見が出ました。第4次を踏まえての第5次なのか、どのようなスタンスで議論を進めていくのかということを最初に議論し、第4次の延長上にあるというだけではなく、第4次を巻き込んでいく時には注意が必要という結論になりました。 「まちづくりワークショップ」や「地域別懇談会」などで第5次総合計画の策定を検討したと書かれていますが、そのような機会を増やしていくことと、声を挙げる人だけではなく、声を挙げない人の声も拾い上げる仕組みづくりを考えていくという意見も出ました。 働きに来ている人にもわかりやすく、参画と協働できる仕組みづくり、一人ひとりの声を拾っていける仕組みづくりという意見も出ました。 第4次までは市全体のありたい姿を重視してきた経緯がありますが、第5次では個々の様々な課題を抱えた地域別構想もより重視していくという話もありました。 P3~4の「3 計画の名称及び構成と期間」については、地域別構想を大事にしていく。それが全体としてつながるのか。住民自治、団体関係、行政の方々が変えるところも必要。市民主権を見直すという意見も出ました。</p> <p>◆ 第2章</p>

第2章「1 本市の概況」及び「2 歴史と文化」に関しては、みつなかホールは市外で高く評価されているのでもっとスポットライトを当てて、文化・教育も盛り上げていく必要があるという意見がありました。

市としてのアイデンティティを確立できたらよいという意見もありました。

また、感想として、川西市ではまだ市民参加が進んでいないという意見もあり、みつなかホールをはじめとした余剰の市民施設を拠点とした取り組みをもっと盛んにしていくべきであるという意見もありました。人口 16 万人ということで、まちは小さいけれども人口は多いので、16 万人の可能性を広げる必要があると思いました。

委員から、加茂のヒメボタルも珍しくて有名なので、水と緑の自然の項目に生物多様化も入れた方がよいという意見もありました。

小学校単位でのコミュニティ推進団体もつくられていますが、小学校区のコミュニティ間の連携も必要だという意見も出ました。

◆ 第3章

第3章「2 川西市民の実感と意識」について、P14のグラフの「要検討」に「21. 観光の振興」「22. 共感・共生のまちづくり」「23. 参画と協働のまちづくりの推進」という非常に重要な項目が属しているので、その部分をどう変えていけるかという議論もありました。

学校が地域で生きていないという意見も出され、「トライ・やる・ウィーク」をはじめとした取り組みもありますが、もっと学校を拠点とした機会を増やしていくと、地域が防災やささまざまな面で変わっていくのではないかという意見も出ました。それに関して、現在、学校で福祉等の分野との連携も少しずつ始まっており、認知症の方のサポートを子どもが入って行うという取り組みも始まっているという話がありました。

続いて、補足をお願いします。

議論のあった点について少し補足したいと思います。

◆ 第1章

第1章の枠組みについても、第5次は新しい計画を作るので、ドラスティックに変えていくという側面もあってもよいのではないかという意見が出され、継承すべき大事な面と、新しくする面とのメリハリが必要だという意見がありました。

その中で、市民の範囲をどのように定義するかという議論があり、外部から日常的に来られる通勤・通学者も位置づける必要があるという話がありました。

地域別構想は重要だという意見でまとめりましたが、それを作成するプロセスも大事なので、そこはきちんと書かなければ、民主的な策定プロセスが市民には見え難いのではないかという意見がありました。

団体自治と住民自治についても、住民自治には住民の自己統治とともに団体自治をコントロールして団体自治を改良していく側面があるので、その両面の指摘が必要ではないかという意見がありました。

委員

◆ 第2章

第2章は現状についてなので、それほど意見はありませんが、人口動態の図で社会移動がマイナスからプラスになり、またマイナスになったという原因をもう少し見ていかなければ人口推計にも影響があるのではないかという意見がありました。

地域資源については、基本構想の10年間はこれが継承されますので、少しでも先を読んだ形で書き込むことが必要ではないかという意見がありました。

住宅団地という大きな特性をもう少し評価するべきとか、市民活動も地域活動だけでなくNPOなどいろいろとありますので、その点も挙げておくべきという意見がありました。

「古の浪漫と文化の彩」については、歴史だけではなく、現在の活動も含めて文化の彩を浮かび上がらせてほしいという意見が出ています。

それから、教育と学校に関して、小学校はいろいろと取り組んでいるようですので、その点も強調した方がよいという意見がありました。

◆ 第3章

第3章も最初の部分は一般的な話なので議論はありませんでしたが、P14の図は「22. 共感・共生のまちづくり」「23. 参画と協働のまちづくりの推進」という、総合計画の柱と思えるものが重要度の低い位置にあるので、アンケートがそのまま計画に反映されるのではなく、重要性を再評価しながら位置づけていく必要があると思われます。特に「参画と協働」はコメントを入れておかなければ、「低い値だから」と判断されて、後でそれがどこかで「重要ではない」という議論に転化されても困るという意見もありました。

それから、中学生の意見も重要で、今の中学生は10年後に社会の中堅どころになっている可能性がありますので、このデータを将来の計画に活かせることができればよいという話もありました。

将来人口の推計についてもいろいろと議論がありましたが、封鎖人口という用語はわかり難いので、誤解を招くような表現は工夫をさせていただいて、「こういう前提ならこうなる」ということを明確にしてほしいという意見が出ました。総計を含めた施策の努力によって人口減少を食い止めるという側面もありますので、客観的な推計の部分は明確にしておくべきだろうという議論がありました。

また、P20~21の分類と4つの方向が唐突に出てくるのでわかりにくいということと、グラフがどれも見た感じがあまり変わらないので、このようなコメントが有意なのか、統計的な検定をして本当にそうだとどの程度言えるのか、きちんと書いていただかなければならないのではないかと思います。

ありがとうございました。1班からはお二人に発表していただきましたが、1班の他の皆様から補足等はございませんか。

配布された資料の1枚目に「アンケートを反映すべき」と書かれていますが、

会 長

委 員

会 長	<p>「アンケートを反映すべきではない」と発言しました。川西市にとって、産業振興・文化・観光は大事ですが、アンケートそのままでは意識が低いままになるので、ここはもっと重要と考えてほしいという意味です。</p> <p>ありがとうございました。他の方はよろしいでしょうか。(意見なし) それでは、2班の報告をお願いいたします。</p>
委 員	<p><2班発表></p> <p>2班のまとめのペーパーは発言者の名前が入っていませんが、まず、全体を通して論点を出していただき、その後、特定の論点について検討するように進めました。しかし、前段の話をしている時に後段の話が入ってきたり、後段の話が進まなかったり、司会を務めた私の不手際があったことをお詫びしたいと思います。</p> <p>それでは、報告させていただきます。全体については最後にコメントさせていただきたいので、第1章から報告いたします。</p> <p>◆ 第1章</p> <p>P2の「総合計画の役割」について、多様な主体、特にこの中では市民の役割が入ってくるので、「総合計画の役割」を「行政が担うまちづくり」と表現した中に入れるのは違和感があり、もう少し市民の姿が見えてもよいのではないかという意見がありました。ただし、それについては逆に「行政計画の中に市民がどう動くかということは直接的には入って来ないのではないか」という異論もありましたので、両論あったことを報告させていただきます。</p> <p>P3～4についてはほぼ受け止められていましたが、図表について、総計のイメージ図がこれまでと同じでよいのか、もう少し書き振りに変化がある必要があるのではないかという意見がありましたが、一方で、実施計画が細かくなり過ぎて全体像が見えなくなっているのではないかという指摘もありました。ただ、それも実行性のないイメージやビジョンで固めるのではなく、あくまでも実行性が見えるような、これまでと違う書き振りがあるのではないか、まだ対案はありませんが、そういう意見が挙げられました。</p> <p>◆ 第2章</p> <p>第2章では、川西市がどのような特徴を持った自治体であるかということ、地形的なもの等を踏まえて書き込まれてもよいのではないかという話がありました。端的に言いますと、大阪に隣接する住宅都市として発展してきたこと、南北に長くて南北間の地域特性にかなり違いがあること等が挙げられ、それらは自治体としての「本市の概況」に一部ありますが、自治体の特徴としてそういうところにもっと触れる必要があるのではないかという意見が出ました。</p> <p>P7については、人口・世帯等の個別のデータをもう少し入れた方がよいのではないかという意見が数人の方から出されました。一つは世帯数の変化、特に単身者世帯の動向について入れてほしいという意見がありました。あるいは、人口動態、特に昼夜間人口や交流人口についての数字はまちの特性を表すもの</p>

なので必要ではないかという意見がありました。

また、注についても、注として入った方がよい内容が提案されましたが、ここでは省略します。

それを踏まえて、P9～10が分析になりますが、これについては以下の視点で分析してほしいという意見が出ました。

まず、農業の中でイチジクについては指摘がありますが、クリやその他の農業についても一定の特産物がありますので、農業も地域資源として書き込んだ方がよいのではないかということです。

「活発な市民活動」では、市域に38あるNPO法人やボランティア活動の活発化など、多様性についても言及するべきだという意見もありました。

地勢的な特徴からみた地域資源、地域の多様性についても書いた方がよいですし、どのような豊かな人材がいるかということについても地域資源として書いた方がよいという意見がそれぞれありました。

◆ 第3章

第3章「まちづくりの課題」については、「国民の安全安心を確実に守る社会へ」ということでP11～12はやや全国的な視点で書かれていますが、その中でも川西市はどう思っているかというスタンスを明確にした書き振りにした方がよいのではないかという意見がありました。具体的には「国民の安全安心」は「市民」ではないか等、川西市から見た時の時代の潮流を明確にして書いた方がよいのではないか、国や県のビジョンを代弁しているような印象があるというご指摘だったと思います。

実態調査については、まずP14の図がやや見づらいという意見がありました。これは中心に固まっているので、スケールを調整する必要があるのではないかという意見がありました。ただ、一方では、そうすると差を大きく見せてしまうことになるのではないかという異論もありました。結局、市平均2.27が満足度として高いのか、低いのかという問題があり、他市との比較があればよいという点もありました。この満足度や重要度の差をどのくらいの違いで示したらよいのかということについては、一定の議論があったということです。

また、アンケートの特徴、例えば、年齢構成等の属性が市の形を反映しているのであれば、それを書いていただくとか、P14の図も説明なく「重点課題」「継続推進」「課題」「要検討」が出ていますので、4象限をどのように位置づけているのか等、データの読み方や留意事項等が必要ではないかという指摘がありました。

P16の「将来人口」でコーホート分析が出ていますが、人口がプラスであまり減らない場合も、マイナス推計もあってよいのではないかと思います。特に、社会増があまり書かれていないことはデータとしてどうなのか、もう少し必要ではないかという指摘がありました。

P17の「地域力の分析」については、基本的にプラス評価が書かれていますが、問題はないのか、マイナス評価も必要ではないかという意見がありました。

P19～20の「『幸せ』の実感と意識」辺りから全体とも関わってきますが、子

育てや教育の要素は、特に定住人口の考え方にとって重要なので、今は平均的に並べて表現されていますが、ここでの言及が必要ではないか、具体的にどのような施策が必要かは今後の分析でもあることは認識しつつも、子育て施策の重要性が指摘されてよいのではないかという意見がありました。例えば、P20の表の中でも、教育文化の満足度の順位がやや低く出ていることも指摘して、今後の施策をどうすべきかというビジョンにつなげるべきではないかというご意見だったと思います。

また、「市民の幸せと意義」について、いろいろな意見が出ました。P21のグラフでは、世代で一つのレーダーチャートにして、その世代の人があるか、ないかを見せた方がよいのではないかという意見があり、一方で、地域別で違いがあるのではないかということ意見もありましたので、年代別のレーダーチャートと地域別のレーダーチャートによってそれぞれの違いの有無を見せた方がよいのではないかという話がありました。

個別の施策については、例えば、土地の問題や病院の充実の問題等が出されましたが、それ以外については今後も検討していくべきだというのが皆さんの意見でした。

◆ 全体について

全体に戻りますと、一つは、この後につながる戦略として、2班ではそれが子育て世代の定住という話になったわけですが、その戦略的なものを明確にした方がよいのではないかという意見が出されました。これが行政計画になると一定全体像を語って個別の施策に入って網羅的に表現することになり、今後の政策的な動向や基本構想の中でも案に示されている部分があるかと思いますが、子育て系の施策、30～40代の定住人口の促進について、政策的に重要なポイントであることがこの段階からも出てくるような計画の書き方があってよいのではないかという意見がありました。

基本構想、基本計画というように計画はブレイクダウンしていくものですが、恐らく実施計画の中でも子育て施策が重要なキーファクターになると思われるので、そういう意味では、後ろを検討してから前に戻ることができたらよいというのが全体的な話でした。

会 長

2班の方で、補足や異論のある方はおられませんか。(意見なし)

<意見交換>

会 長

それでは、1班、2班を通じてそれぞれ議論をしていただきましたので、ここまでの議論の内容について、ご質問やご意見がございましたらご発言いただきたいと思います。

それから、もう一つ、班別討議が始まる前に「この方法が上手くいくかどうか」という議論があり、その中でまずは討議をしていただきましたが、改善点、あるいはもっと別の方法を提案される方もおられるかもしれませんので、その辺りについても、いろいろな角度からご意見をいただきたいと思います。いか

<p>委員</p>	<p>がでしょうか。</p> <p>◆ 班別討議の進め方について</p> <p>本日の2班の議論を聴いた個人的な感想ですが、それぞれ考えの体系が違いますので、噛み合わないところが結構あります。そういう意味で、私自身は書面にして出さなければならないと思いました。当然、議論することによって、時間が経つごとにそれぞれの考え方を理解できる場所も出てきますので、このような形の議論もある意味では意義があると思いますが、人によっては、なかなか発言し難くなってしまっているところもあります。</p> <p>そういう意味では、それぞれ皆さんが言いたいことを書面にするようにされてはどうでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>話す方がよい人もおられるかもしれませんが、ご指摘のように、そのような場では発言し難いけれども書く方ならよいという方もおられるかと思います。両方のバランスをとって進められるようにと考えられているものと思います。</p> <p>その他はいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>2班の進め方としては、まずは論点出しをして、次に論点整理をして、その後、重点項目を協議することになっていましたが、やはり重点項目協議まで進まずに、論点出しや論点整理の途中で協議になりました。そういう点では、もう少し話を深めたかった点もあり、不消化の部分もありましたので、審議時間が45分というのは厳しいと思います。大事なことです。最初からもう少し多めの時間設定で、早く進めばそれはそれでよいというくらいの方がよいのではないかという気がします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。時間配分の問題、特にかなり幅広くいろいろ議論を詰め込んでいただき、特に本日は45分という短い時間で、第1部の本市の全体像、これまでの課題を全部把握していただくということもありましたので、議論も集中し難かったところあるかもしれません。この辺りは、司会の方にご苦勞をお掛けしたのではないかと考えています。</p> <p>私もどちらの班も半分ずつ伺ったのですが、どちらも進行としてはいろいろな意見が次々に出てきたという印象がありました。ただ、一つひとつの論点についてじっくり考えて議論するところまでの時間はなかったもので、その点は全体の進行との兼ね合いでも難しいところがあるというのが私も率直な印象としてありました。この辺りも踏まえて、次回以降、進め方についても一度組み立て直しを考えたいと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>◆ 班別討議の意見の反映について</p> <p>本日の班別討議では論点出しを中心に行い、個別の具体的な議論までは至ら</p>

会 長	<p>ない部分もあったのですが、例えば、この審議の結果として大枠の意見は出ましたが、具体的に文章やチャートをどうするかという意見も出たり、出なかったりしましたので、これをどのように事務局がキャッチして、原案に対する修正や追加補正に反映されるのでしょうか。</p> <p>その点は、進行を見ながら私と副会長と事務局で相談させていただきました。本日の記録だけでもかなりたくさん意見をいただいています。併せて、これから皆さん方から書面でも意見を出していただいで、それを集めさせていただきます。それにより、本日の第 1 部に限ってもきちんと反映させた形のものを作らなければならないと事務局とも話をしました。</p> <p>ただし、来週すぐにできるような易しいものではないこともご理解いただけるかと思いますが、次回すぐにとということではなくても、できるだけ早い段階で皆様方のご意見を反映させたと称するものを出させていただくことにしたいと思います。そして、それをもっともう一度、皆様方にご議論いただく機会を是非つくりたいと思います。</p>
会 長	<p>< 総括 ></p> <p>それでは、当面の進め方としては、現在、事務局から案として出されているもので第 2 部が残っておりますので、それについてもご意見をいただいで、もう少し進め方を工夫させていただきますが、基本的には本日と同じような形で議論していただいで、ご意見をいただきたいと思います。また、書面でもご意見をいただき、それらをベースにして修正したものを以降に提示させていただいて、ご議論をいただくという形で進められればと思っております。</p> <p>事務局はそれでよろしいでしょうか。そのような形で考えておりますので、そのような進め方にしたいと思いますが、その点も併せてご意見がありましたらお願いしたいと思います。(意見なし)</p> <p>特にご意見がないようでしたら、すでに 3 時間近くの委員会となっておりますので、ご議論いただくところについては、次回、第 2 部を改めてご議論いただき、その成果を踏まえて、全体を通してもう一度修正したものを議論いただくという進め方にしたいと思います。また、そのプロセスで、書面でまた事務局へご意見もいただければと思っておりますので、よろしく願います。</p> <p>それでは、審議部分につきましては以上とさせていただきますと思います。その他、次回以降の予定について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>3 . その他</p> <p>◆ 次回予定 / 検討シートの説明</p> <p>今回は 7 月 11 日に第 2 部についてご審議いただく予定です。</p> <p>お配りしている資料の中に「第 5 次総合計画基本構想(原案)に係る検討シート」を添付しております。</p> <p>(検討シートの説明)</p>

◆ 今後の日程について

現在、第 5 回目の日程まで決定していますが、残りの第 6 回、第 7 回の日程を調整させていただきたいと思えます。予め皆様のお手元に配布してあります日程調整票にこの場でご記入いただけましたら幸いです。この場でわからない場合は、お持ち帰りいただいた上、後日、ファックスでご提出いただいても結構です。

◆ 勉強会について

それから、第 1 回の審議会でご提案をいただきました勉強会の件につきましては、本日の審議会でも「意見を言い尽くせない」「ディスカッションしたい」というご意見をいただきました。そこで、第 3 回審議会が 7 月 11 日、第 4 回が 7 月 30 日ということで、その間若干日がございますので、このインターバルを活用して、勝手ではございますが、前回いただいた予定表に従って事務局で調整し、7 月 19 日(木)午後 6 時 30 分から市役所内で勉強会を開催させていただきたいと考えております。この中では特にテーマを設けず、フリーテーマで実施したいと思えますので、その出欠についても出欠表にご記入いただきたいと思えます。

事務局としましては、一定の人数が集まることを開催の前提条件とさせていただきたいと考えておりますが、現時点ではどのくらいの方が参加したいと思われているのか不明ですので、一度その辺りはご様子をお伺いさせていただきたいと思っております。参加希望についてご記入の上ご提出ください。

今後は事務局で速やかに集計し、第 6 回、第 7 回の開催日を決定しまして、勉強会を開催するか否かも含めまして、後日、正式にご案内させていただきたいと思っております。以上です。

4 . 閉会

どうも、ありがとうございました。次回の資料、今後の日程調整はご案内のとおりです。次回分につきましては、次回の検討でご意見をいただくということでここでは議論はないということにいたしますが、もし、ご質問やご意見等、ございましたら、お手元のシートに記入して事務局にご提出いただくか、あるいは直接、事務局の方に質問等をお問い合わせいただければと思えます。よろしく願いいたします。

今、日程がお分かりの方は、この場でご記入をお願いいたします。

併せて、第 2 部の検討シートをお手元にお配りしておりますので、是非、次回までに、言い切れないところも多いかと思えますので、整理してご提出いただければ有難く存じます。

また、本日、ご検討いただきました第 1 部につきましても、いろいろとお気づきの点があるかと思えますので、そちらもご遠慮なく、第 1 部についての検討シートも改めて記入してご提出いただけましたら大いに参考になると思えます。こちらもよろしく願いいたします。

議事は以上で終了させていただきます。3 時間という長い時間、ご審議いた

会 長

事務局	<p>だきましてありがとうございました。それでは、事務局にお返しいたします。</p> <p>皆様、本日は本当に長時間、ご議論いただきまして、どうもありがとうございました。次回は7月11日(水)午後6時30分から4階庁議室で開催いたしますので、ご出席のほど、よろしく願いいたします。</p>
委 員	<p>検討シートは本日分と次回分をメールで送っていただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>わかりました。それでは、メールアドレスをお伺いしている方にはメールでお送りさせていただき、ファックスの方はファックス用紙で再度お送りさせていただきます。</p> <p>本日は、どうも、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>